

日立製作所

# 企業ポータルサイトをスピーディーに実現するプラットフォームCosminexus Version4



株式会社日立製作所  
ソフトウェア事業部  
ネットワークソフトウェア本部  
eビジネス推進部長

山田 健雄 氏

日立製作所は、企業ポータルのニーズに対応して今年6月、Cosminexus Version4を発表した。特長は、社内外の情報や知識資産を集約するとともに、利用者のミッション(所属や役職)に合わせて情報をパーソナライズして提供することが可能なこと。eビジネス環境を構築するにあたっての開発容易性と先進性、さらに一歩進んだ「eとEの統合」のための先進性と拡張性を兼ね備えている。すでに日立製作所の社内システムで適用し、10万人規模のユーザーが活用している。その成果をベースに企業ポータルのプラットフォームとして提供する。

さらに、ネット社会を勝ち抜くためには、企業や組織・人が、ネットによって柔軟に協調し、最も価値のあるビジネスをスピーディーに展開するビジネス形態、すなわちコラポレイティブEビジネスを、実践するよう、企業が進化する必要がある。

日立製作所は、コラポレイティブEビジネス実現へのプラットフォームとして、Cosminexus Version4を6月20日に発表した。

知的資産の集約とパーソナライズ(ポータル) 新規ビジネスの迅速な実践(コンポーネント) 企業内外の業務の統合(ビジネスインテグレーション)が三本柱であり、BtoE、BtoC、BtoBの実践を強力にバックアップする。ビジネスロジックを組むための著名パツ

ケージとの接続、トータルフレームワークを提供する堅牢な基盤、eビジネス構築を支える専門家集団の対応といった課題も、ビジネス戦略として視野に入れている。

企業ポータルは、コラポレイティブEビジネスを支える重要なファクターである。散在している知的情報を集約すること、そして従業員の職務に応じて各ユーザーに最適な形で情報を提供すること、の二つの機能が不可欠である。

企業ポータルを活用することで、必要な情報へのアクセス時間を削減し、情報活用によりビジネスの質を向上させることができる。また、製品の企画立案から生産管理までというように、一連の業務の流れを実現する業務ナビゲーションも、企業ポータルの役割の一つである。

**先進性、信頼性、拡張性、開発容易性、サポート力、コストメリットが特長**

Cosminexus Version4の特長的ポイントは、「ポータル」「ビジネスインテグレーション」「コンポーネント」である。

まず企業ポータルでは、個人の必要性に応じたプレゼンテーションサービスを行うことができる。また、企業リソース統合のためのアダプタであるポर्टレットを介して画面が統合される。

さらに、社内業務と企業間取引のシームレスな統合を実現するビジネスインテグレーション

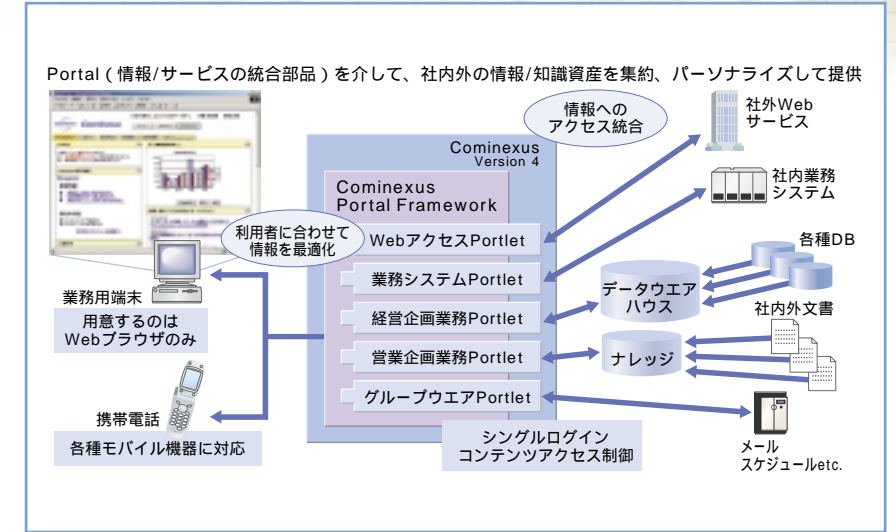
ンでは、電子部品の取引に使われている業界標準のRosettaNetに、日本で初めて対応させているのが目玉となっている。このRosettaNetは、160以上の企業・団体が参加する民間コンソーシアムで、情報機器分野、半導体・電子部品分野でのサプライチェーン構築のための実用化を推進している。

また様々な企業のビジネスノウハウを集約したコンポーネントを活用し、迅速に新規ビジネスを実践できるように、イーシー・ワン社が提唱した業界標準のフレームワークであるcFrameworkを業界で初めてハンドリした。電子店舗用、決裁業務用、特定業務用など、約600種類のコンポーネントを活用可能であり、品質の安定したものを作ることができる。

このように、Cosminexus Version4は、eビジネス基盤から業種別ソリューションまで、きめ細かく顧客ニーズに対応する。J2EE™ブランドを取得するなどの先進性を確保しつつ、基幹システムを念頭に置いた信頼性、拡張性、そして開発容易性、サポート力、コストメリットを持っている。

**10万人規模の活用をベースに総務セルフサービスポータルも構築中**

最後に、ポータルフレームワーク機能につ



Cosminexus Portalの機能概要

いて紹介しよう

Cosminexus Version4では、ポर्टレットにより情報を組み合わせ、タブを使って情報を分類・整理できるようになっている。また、既存ホームページを部分的に取り込んで、社内Webを一望することができる。

同時に、ディレクトリ連携により利用者に合わせて情報を最適化するパーソナライズを実現する。利用者が自分でデスクトップをカスタマイズすることも可能である。たとえば、旅費精算のコンテンツを追加したり、位置をカスタマイズしたり、といったことも容易にでき

るのである。

シングルログインによりシームレスに各種システムとの連携が可能にもなっている。ユーザーIDの異なるシステムを切り替えることなく、メールや案件の到着情報、予定を表示し、社内業務システム、CRMシステムなどとの連携ができる。この機能によって、作業効率を大幅に向上させることができるようになるのである。

ポータルフレームは、すでに日立製作所の社内システムで適用し、10万人規模のユーザーが実際に活用している。従業員サービスをセルフサービス化し、各事業所の総務部門を縮小する総務セルフサービスポータルも構築中である。Cosminexus Version4は、そうした実績を踏まえて製品化されたものなのである。

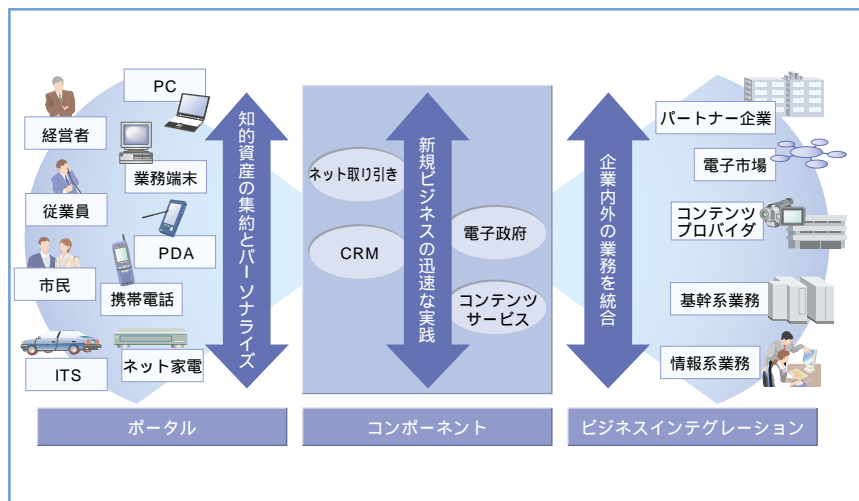
JavaおよびJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc.の商標もしくは登録商標です。その他記載の会社名・製品名は、各社の商標もしくは登録商標です。

お問い合わせ先

株式会社日立製作所  
ソフトウェア事業部  
〒140-8573 東京都品川区南大井6-26-2  
大森ベルポートB館  
ダイヤルイン 03-5471-2592  
FAX 03-5471-2395  
URL http://www.hitachi.co.jp/soft

コラポレイティブEビジネスを支援する  
Cosminexus Version4

ネットビジネスは新世代へ向かっている。eビジネスは基幹業務と統合され、リアルビジネスに新たな価値を創造する「eとEの統合」を実践しながら、全産業へと広がっていく



コラポレイティブEビジネスを支えるCosminexus V4



Cosminexus PortalのFramework機能。社内ホームページの統合表示(Web-Portlet)